

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年 5 月1日～2024年4月30日)



2024年 7月1日発行

株式会社 三秀

環境経営レポート 目録

1. 組織の概要	P.3
2. 対象範囲	P.3
3. 環境管理体制	P.4
4. 環境経営方針	P.5
5. (基準年の環境負荷と) 環境経営目標	P.6
6. 環境経営計画の内容	P.7
7. 環境経営計画、環境経営目標の実績及び環境経営計画の 取組結果とその評価	P.8
8. 次期間の環境経営目標及び環境経営計画	P.9
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.10
10. 代表者による全体の評価と見直しの結果	P.11

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 三秀
代表取締役 根本 研

(2) 所在地

本社 神奈川県川崎市麻生区下麻生 2-18-3
工事部 神奈川県川崎市麻生区下麻生 2-20-11
資材置き場 神奈川県川崎市麻生区黒川 261-11

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 伊藤 公治
担当者 今井 渉
連絡先 電話 044-987-5921 FAX 044-987-9941
e-mail sansyu-ito@cb.wakwak.com

(4) 事業活動の内容

土木工事業、造園工事業
許可番号 神奈川県知事許可(特-2)第 40886 号

(5) 事業の規模

(2023 年度:2023/5/1~2024/4/30)

受注件数(件)	92
売上高(百万円)	1,150
従業員数(人)	18
延床面積(m ²)	110

2. 対象範囲(全組織・全活動)

(1) 認証・登録対象組織

本社、工事部、資材置き場

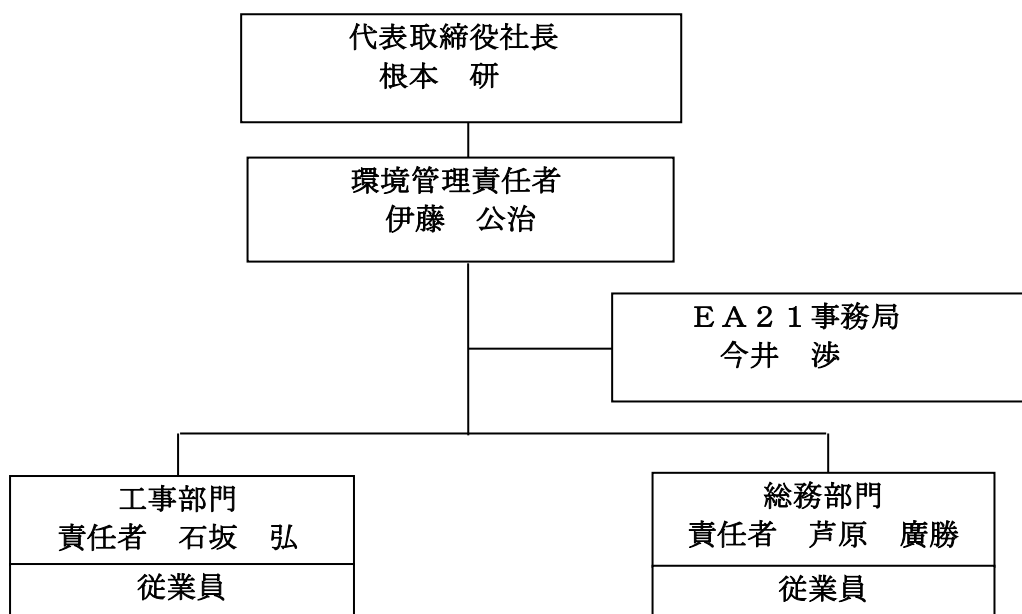
(2) 認証・登録対象活動

土木工事業、造園工事業

3. 環境管理体制

作成 2021 年 7 月 1 日
2 版 2021 年 12 月 20 日

承認	作成
根本	伊藤



役職	責任及び権限
代表取締役社長	1、環境管理責任者の任命 2、経営における課題とチャンスの明確化 3、環境経営方針の制定 4、環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 5、環境経営システムの定期的見直しの実施 6、社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1、環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2、社長への環境経営システムの実施状況報告 3、推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4、それぞれの業務、役割に応じ、必要な教育、訓練を適切に計画、実施 5、関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6、環境関連文書及び記録のチェック
EA21 事務局	1、環境管理責任者の補佐、推進委員会の事務局 2、環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成 3、環境経営目標・活動計画原案の作成及び実績の取りまとめ 4、環境経営レポートの作成
部門責任者	1、環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2、環境上の緊急事態への準備及び対応
従業員	1、環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する

4. 環境経営方針

株式会社三秀環境経営方針

基本理念

当社は、縁したすべてのお客様には一生お付き合いいただけるよう、地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識して環境経営に取り組み、土木工事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮した行動をすることにより、低炭素社会と循環型社会の実現を目指すとともに、次世代への継承に貢献します。

環境経営方針

- 1 環境経営システムを効果的に運用して環境保全の向上に努め、システムの継続的改善を図ります。
- 2 環境関連法規、条例等を遵守し、環境汚染の未然防止に努めるとともに、次の活動に取り組み、環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 電気、ガソリン等の省エネルギーを推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - (2) 分別を徹底し、廃棄物の削減とリサイクルによる資源化を推進します。
 - (3) 適正使用による節水を推進し、総排水量を削減します。
 - (4) 再生コピー用紙の購入や裏紙の利用等による資源の有効利用を図ります。
- 3 この環境方針を全従業員に周知するとともに、環境教育を実施して、環境保全意識の向上に努めます。

2021 年 7 月 1 日制定

株式会社三秀

代表取締役社長 根本 研

5. (基準年の環境負荷と)環境経営目標

環境経営目標	項目	基準年(実績)	年度目標
		2020 年度 (通年)	2023 年度
		20/5～21/4	3%削減
1. 二酸化炭素 排出量削減	CO2総量 (kg-CO2)	87,026	84,415
①電力使用量の 削減	電力使用量 (本社・工事部) (kWh)	12,265	11,897
②ガソリン使用 量の削減	ガソリン 使用量 (本社・工事部) (L)	8,493	8,238
③軽油使用量の 削減	軽油使用量 (工事現場) (L)	24,364	23,633
2. 一般廃棄物 排出量の削減	一般廃棄物 排出量 (袋)	274	269
3. 水使用量の 削減	水の使用量 (L)	142.0	137.7
4. 産業廃棄物リ サイクル率維持	リサイクル率 (%)	98	80
5. 工事完成の 評価点	65 点未満 0(件)	0	0

※購入電力(東京ガス)のCO2調整後排出係数は 0.364kg-CO2/kWh を使用。

※当社は化学物質を扱っていないため目標を設定していません。

※一般廃棄物排出量の基準は 2021 年実績(9 か月)から推定。

※来年度以降の年度目標は末ページに記載

6. 環境経営計画の内容

当社の環境保全に向けた具体的な取組の内容を以下に示します。

1. 二酸化炭素排出量削減

(1) 電気使用量の削減

- ① 使用していない照明やパソコンを消すことによる電力使用量の抑制
- ② 冷暖房の温度の設定管理とエアコンの清掃

(2) ガソリン使用量の削減

- ① 燃料効率の良い速度で運転
- ② 効率の良い配車計画による車利用
- ③ アイドリングストップ
- ④ 適正な空気圧の保持
- ⑤ 適正な車両の整備

(3) 軽油使用量の削減

- ① 燃料効率の良い速度で運転
- ② 効率の良い配車計画による車利用
- ③ アイドリングストップ
- ④ 適正な空気圧の保持
- ⑤ 適正な車両の整備

2. 一般廃棄物排出量の削減

- ① 排出量を測定する
- ② 裏紙使用の徹底
- ③ ごみの分別の徹底

3. 水使用量の削減

- ① 節水意識の喚起
- ② 節水表示板の設置

4. 産業廃棄物リサイクル率の維持

- ① 産業廃棄物の分別の徹底
- ② マニフェストの確実な発行及び管理

5. 工事完成の評価点

- ① 65 点未満ゼロ
- ② 環境配慮会議の開催、品質向上会議を月 1 回開催
- ③ 手直し工事ゼロの維持

7. 環境経営計画、環境経営目標の実績、取組結果とその評価

環境経営計画	取組結果とその評価(運用期間:2023 年 5 月～2024 年 4 月)			
	環境経営目標	実績	達成区分	環境経営計画の取組み評価、是正対策
1. 二酸化炭素削減 kg-CO ₂	84,415 kg-CO ₂	64,753 kg-CO ₂	○	・軽油使用量を大幅に削減できたので目標を達成した。
① 電力使用量の削減 ・エアコンの温度管理 ・消灯の徹底	11,897 kWh	17,136 kWh	×	・取組を励行したが目標不達成だった。 ・基準通年よりも稼働している電化製品が増加したため使用電力を抑えることが難しい。 ・空調の温度管理・こまめな電源 off を心掛ける。
② ガソリン使用量の削減 ・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底 ・運転者教育の実施	8,238 L	8,562 L	×	・取組を励行したが目標不達成だった。 ・遠方の現場が多く移動距離増加にともなってガソリン使用量が増加した。 ・エコドライブ、冷暖房の適切な使用を心掛ける。
③ 軽油使用量の削減 ・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底 ・運転者教育の実施	23,633 L	14,910 L	○	・日常の取り組みにより目標達成。 ・ダンプなどの重機の使用が少なかったこともあるがエコドライブを意識することができた。 ・引き続き取り組みを継続する。
2. 一般廃棄物排出量削減 ・排出量の測定	269 袋	253 袋	○	・日常の取り組みにより目標達成。 ・ごみの削減、分別を意識することができた。 ・引き続き取り組みを維持する。
3. 水使用量の削減 ・節水意識の喚起 ・節水表示板の設置	137.7 m ³	129.1 m ³	○	・日常の取り組みにより目標達成。 ・こまめな節水を意識することができた。 ・漏水のないことを確認した。
4. 産業廃棄物リサイクル率維持 ・廃棄物分別の徹底 ・マニフェストの発行・管理	80 %維持	97.1 %	○	・日常の取組により目的達成。 ・廃棄物の分別を進めて長期的にはリサイクル率の向上を目指していきたい。
5. 工事完成の評価点 ・65 点未満 0 ・環境配慮会議の開催、品質向上会議を月 1 回開催 ・手直し工事ゼロの維持	65 点未満 0 件	65 点未満 0 件	○	・品質向上会議を月 1 回開催し各工事現場の品質向上の意識を高めることができた。

○:目標達成、×:目標未達

8. 次年度の環境経営目標

(年度:5月1日～翌年4月30日)

環境経営目標	項目	基準年度	次年度目標	次年度計画
		2023 年度	2024 年度	2024 年度
			1%削減	
1. 二酸化炭素排出量削減	CO2総量 (kg-CO2)	67,036	66,366	
①電力使用量の削減	電力使用量 (本社・工事部) (kWh)	17,136	16,965	・不使用照明の消灯 ・PC・複合機省エネ設定 ・空調機温度の適正化、等
②ガソリン使用量の削減	ガソリン使用量 (本社・工事部) (L)	8,568	8,482	・エコドライブの徹底 ・燃費向上運転教育 ・車両整備の徹底、等
③軽油使用量の削減	軽油使用量 (工事現場) (L)	15,736 (2022 年と 2023 年の 平均値)	15,579	・エコドライブの徹底 ・燃費向上運転教育 ・車両整備の徹底 ・高効率歯医者設定、等
2. 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量 (袋)	257	254	・排出量の測定 ・裏紙使用の徹底 ・ごみ分別の徹底、等
3. 水使用量の削減	水の使用量 (m3)	129.1	127.8	・節水意識喚起 ・節水表示版取付、等
4. 産業廃棄物リサイクル率維持	リサイクル率 (%)	97.1	80	・産廃分別の徹底 ・産廃の適正管理
5. 工事完成の評価点	65 点未満 0(件)	0	0	・品質向上会議開催、等

※購入電力(東京ガス)のCO2調整後排出係数は 0.373kg-CO2/kWh を使用。

※当社は化学物質を扱っていないため目標を設定していません。

※次年度の環境経営計画は新たに今年度を基準年度とし 1%削減を目標に変更しました。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

承認	確認者
根本	今井

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)	遵法確認	確認日
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理、産業廃棄物適正処置 (汚泥、金属クズ、廃プラ、廃油等) マニフェストの交付及び管理	○	2023 年 12 月 5 日
建設リサイクル法	特定建設資材リサイクル	○	12 月 5 日
容器包装リサイクル法	容器包装廃棄物の適正処理	○	12 月 5 日
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正処理	—	12 月 5 日
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子機器の適正処理	—	12 月 5 日
自動車NOx・PM法	使用車両の窒素酸化物、排出基準に適合	○	12 月 5 日
オフロード法	バックホウ等の適合車使用	○	12 月 5 日
フロン排出抑制法	第一種特定製品の点検、管理 冷媒用フロンの適正回収、破壊の措置	○	12 月 5 日
消防法	少量危険物の貯蔵・取扱いの基準	—	12 月 5 日

— 期間中非該当

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反はなかった。
なお、外部からの訴訟および関係当局よりの違反等の指摘は過去 3 年間なし。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

作成 2024 年 7 月 1 日

作成
根本

1 二酸化炭素削減

今年度も電力・ガソリン使用量の削減において目標を達成することが出来なかったが、軽油使用量の低減において目標を達成することができた。軽油使用量は大幅に低減できたため、期間中全体では二酸化炭素排出量を大幅に削減することができた。

電力の削減については年々電力の使用量が増加している。今年度の 8 月、9 月は特に酷暑であったため空調の使用が増えたこと、年々事務所で使用する電化製品が増えていることが原因であると考えられる。空調の適切な温度や使用しない物の電源 off で使用量の削減を目指していく。

ガソリンの使用量の削減については遠方の工事現場を多く受注したため移動量の増加にともない使用量も増加した。年度の後半は遠方の工事現場は終了したため、月間目標は達成できていたが、年間の目標には届かなかった。再び遠方の工事現場を受注しない限りは削減をすることができていると感じている。エコドライブ、冷暖房の適切な使用を意識してできる限り使用量の削減を目指していく。

2 一般廃棄物排出量削減

一般廃棄物の削減目標を達成することができた。従業員一人一人がごみの削減、分別を意識して取り組むことができた。

3 排水量削減

排水量は期間中全体では目標を達成することができた。日々こまめな節水や節水型のトイレを導入したことが良い結果につながったと考えられる。

4 産業廃棄物のリサイクル率維持

産業廃棄物のリサイクル率は年間を通した総合量では目標を達成することができた。産業廃棄物の分別によって混合廃棄物の排出量の削減を目指していく。

全体

目標全ての達成は出来なかったが、環境活動においては概ね実施できていた。しかし、電力やガソリンの使用量は連続で未達成となってしまった。環境の変化や遠方の工事現場など要因が考えられるが、その中で少しでも目標の数値に近づけるように取り組む必要がある。

これまでの3年間の取り組みのデータを集計し分析を行った。3年間の会社の変化を考えて新たに2023年度を基準として今後の環境経営目標および環境経営計画を組むこととした。新たな目標を達成できるように今後も取り組みを継続していく。

- ・環境経営方針の変更の必要性:なし
- ・環境経営目標および環境経営計画の変更の必要性:あり
- ・実施体制の変更の必要性:なし

変更後(基準年の環境負荷と)環境経営目標

環境経営目標	項目	基準年(実績)	年度目標	中間目標		長期目標
		2023 年度 (通年)	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
		23/5～24/4	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
1. 二酸化炭素排出量削減	CO2総量 (kg-CO2)	67,035	66,365	65,694	65,024	64,354
① 電力使用量の削減	電力使用量 (本社・工 事部) (kWh)	17,136	16,965	16,793	16,622	16,451
② ガソリン使用量の削減	ガソリン 使用量 (本社・工 事部) (L)	8,568	8,482	8,397	8,311	8,225
③ 軽油使用量の削減	軽油使用量 (工事現場) (L)	15,736 (2022 年と 2023 年の平均 値)	15,579	15,421	15,264	15,107
2. 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物 排出量 (袋)	257	254	252	249	247
3. 水使用量の削減	水の使用量	129.1	127.8	126.5	125.2	123.9
4. 産業廃棄物リサイクル率維持	リサイクル率 (%)	97.1	80	80	80	80
5. 工事完成の評価点	65 点未満 0(件)	0	0	0	0	0

※購入電力(東京ガス)のCO2調整後排出係数は 0.373kg-CO2/kWh を使用。

※当社は化学物質を扱っていないため目標を設定していません。